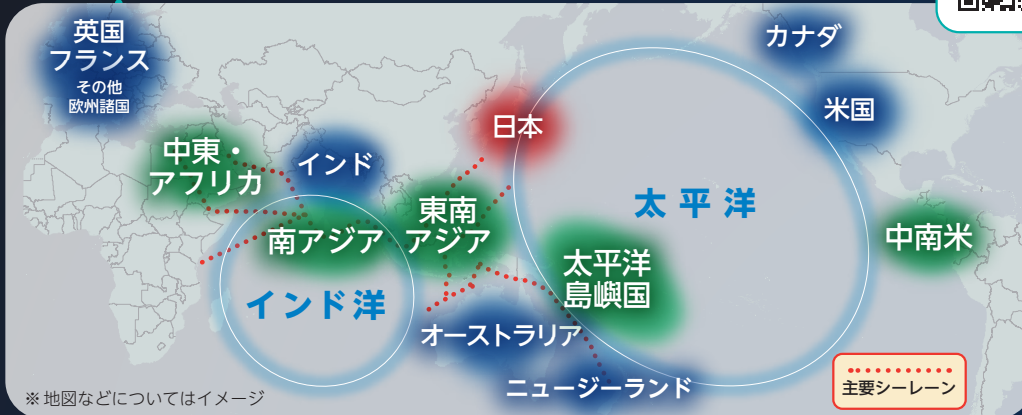


「自由で開かれたインド太平洋」

◇わが国にとって望ましい安全保障環境を創出するため、各国との安全保障協力を推進しています。



FOIPに関する防衛省の取組について9か国語でご覧いただけます。



※ 地図などについてはイメージ

主要シーレーン

インド太平洋地域は、世界人口の半数を擁する世界の活力の中核であり、主要なシーレーンが通過しています。「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」というビジョンは、インド太平洋地域において、法の支配に基づく自由で開かれた秩序を実現することにより、地域全体、ひいては世界の平和と繁栄を確保していくとの考え方に根ざしたものです。FOIPは包摂的なものであり、この考えに賛同するのであれば、いずれの国とも協力可能です。

FOIPの維持・強化に向けたパートナーとの協働

防衛省では、FOIPの維持・強化に向けて、日米同盟を基軸としつつ、オーストラリア、インド、英国、フランス、ドイツなどの欧州諸国、カナダ、ニュージーランドといった、FOIPというビジョンを共有し、インド太平洋地域に繋がりを持つ多くの国々との間で積極的に協働します。



統幕長とドイツ連邦総監との会談



日独2+2 (テレビ会議)



ドイツ海軍フリゲート「バイエルン」が日本寄港
また、統幕長・陸幕長・海幕長・空幕長がそれぞれのカウンターパートと相次いで会談



海幕長とドイツ海軍総監との会談



陸幕長とドイツ陸軍総監とのテレビ懇談



空幕長とドイツ空軍総監との会談

FOIPの維持・強化に向けて協力を強化する国・地域

重要なシーレーンが通過する、ASEANを含む東南アジア・南アジア諸国、太平洋島嶼国に加え、エネルギー安全保障上重要な中東やアフリカ、中南米といったインド太平洋の各地域との間で、防衛協力・交流の幅広い手段を活用しながら、FOIPの維持・強化に向けて協力を強化することとしています。

防衛省において初となる大臣級の多国間国際会議開催



初の開催となった日・太平洋島嶼国防大臣会合 (JPIDD)



カンボジア陸軍司令官の訪日

安全保障環境の創出

インド太平洋地域での能力構築支援

コロナ禍を踏まえ、対面・オンラインのハイブリッドで能力構築支援を実施



ODA供与品(人命救助機材)を用いての、フィリピンに対する能力構築支援(HA/DR)



豪主催の東ティモールに対する能力構築支援「ハリイ・ハムトゥック」への参加



ベトナム人民軍UNISFA参加部隊に対し、各種物品の梱包に関する助言及び実技支援の実施



オンライン形式で実施したASEANに対する能力構築支援(サイバーセキュリティ)

インド太平洋地域での主要訓練

※ 地図はイメージ

IPD21



IPD21 旗艦「かが」出国



ベトナム海軍との訓練

米国主催大規模広域訓練 (LSGE21)



「いせ」艦上の陸自AH-64D(手前)と米海兵隊MV-22B

英空母クイーン・エリザベスの日本寄港に合わせ、各種訓練を実施



英空母クイーン・エリザベス【時事【英海軍提供】】

パシフィック・クラウン21



IMED21



スリランカ海軍との親善訓練

ラ・ペルーズ21



フランス海軍及び日米豪印4か国による共同訓練

マラパール2021



日米豪印の連携深化

カマンダグ21



比海兵隊との災害救援活動に係る共同訓練

日比人道支援・災害救援共同訓練



空自とフィリピン空軍初の共同訓練

アラビア海
インド洋
ベンガル湾
南シナ海
フィリピン海